

学校自己評価結果に基づく学校関係者評価一覧

池上学院グローバルアカデミー専門学校

自己評価項目		評価値	学校自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標	1	4	理念・目標・育成人材像は適切に定められているか。 ・克己、感謝、利他の校訓を実践しながら適切さを高めている。 ・適切に定められており、普段の教育活動において実践している。	理念・目標・育成人材像を具現化するため、きめの細かい教育、説明をされている点が大いに評価できる。
	2	5	社会のニーズ等を踏まえた学園・学校の構想となっているか。 ・次なるステップに向けて、検討をしている。 ・社会的ニーズにより2学科を据え、少人数制の丁寧な教育活動を行っている。	
	3	5	理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。 ・体験入学・入学者面談・三者面談を繰り返し行い、保護者への周知・理解をして頂く努力をしている。 ・学校説明会・体験入学を通じ、丁寧に周知している。また、面談を行うことにより、周知徹底している。	
II 学校運営	4	4	理念・目標等に沿った運営方針が適切に策定されているか。 ・校長からの運営方針に従い、職員が動いている。 ・適切に策定されており、周知されている。	校長からの指示のもと良く運営されている。また今期からは、より以上の学校運営の向上を目指し、運営本部を立ち上げ、トップダウンだけではなくボトムアップも行える体制作りをしており、学園創立以来の初の試みに挑戦している事は評価に値する。
	5	4	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。 ・運営組織は明確にされているが、まだ十分ではない。 ・明確になっている。	
	6	4	情報システム等による業務の効率化が図られているか。 ・校内サーバーの構築、ADによるパソコン管理を行っている。 ・情報システム環境の構築により、遠隔授業や在宅勤務への対応ができており、業務の効率化にもつながっている。	
	7	4	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。 ・高校部門との連携を図るように心がけているが、まだ十分ではない。 ・学園全体での連携に努めている。	
	8	5	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。 ・Web上で公開している。 ・学校ホームページに情報公開している。	
III 教育活動	9	4	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間が確保されているか。 ・支援を必要とする学生を対象としているため、他校と比較しても授業時間数・授業日数を多く確保している。 ・学習時間は確保されているが、教育到達レベルについては個人差が大きいのところがある。	創立以来、支援が必要な生徒の教育を行っており、社会的にも池上学園全体の教育が浸透している。また、少人数体制で、学生の特性を共有し他校と比較しても授業時間数・授業日数を多く確保していることは感心出来る。
	10	4	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。 ・新型コロナの影響で、課外行事が殆ど出来ない状況である。 ・学校行事の実施や実施形態についてはコロナの状況から適切に判断して行っている。	
	11	4	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか。 ・学科担当から各教員に指導するよう心がけている。 ・授業規律を確保している。指導体制は拡充の余地がある。	
	12	5	関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の作成、見直しが行われているか。 ・インターンシップを導入し、そこから実習課題を提供してもらい授業に組み入れることをしている。 ・年間を通じてインターンシップを行っている。	
	13	5	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。 ・基準を明確にし、評価を行っている。 ・明確になっている。	
	14	4	授業評価の実施、評価体制があるか ・科目担当が評価した後で、他の教員による話し合いを行っている。 ・適切な評価体制を目指す。	
	15	5	職員の能力開発のための研修が行われているか。 ・コーチング研修など、取り入れている。 ・外部研修を実施している。	
	16	5	クラス担任と科目担当の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか。 ・学生の特性を共有しながら、授業を進めている。 ・学生への共通認識・共通理解のため連携している。	
IV 学修成果	17	5	就職率の向上のため計画的な取り組みがされているか。 ・担任・進路指導担当より個別に指導にあたっている。 ・インターンシップを年間計画として行っている。	インターンシップなどを経験する事は、実際に実務を知るきっかけになるし、現場を見る事が必要であり、その経験が社会の中で生きる。よって今後も外部との関わりは多いに持つべきである。
	18	5	退学率の低減は図られているか。 ・学生面談および保護者と連携することにより、可能な限り退学を避けるように努力している。 ・面談を行うことにより、学習や生活の不安解消に努めている。	
	19	5	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価に注目し積極的に奨励しているか ・高齢者施設や放課後児童ディサービスへのボランティア活動を紹介している。 ・学生個人の能力・適正に応じて、外部での活動を積極的に奨励している。	
V 学生支援	20	5	学生相談に関する体制は整備されているか。 ・担任を始め職員全員で学生への相談を受け付けている。 ・面談を定期的実施し、学習や生活の不安解消に努めている。	保護者との信頼関係を構築するため、三者面談をはじめ、こまめな電話連絡で、良い所を保護者に伝え、保護者が学校を信じ、先生も信じれる活動をしている点は大いに評価出来る。
	21	5	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ・修学支援新制度の対象校となり、経済的負担は軽くなっている。 ・特待生制度を整備し、利用を促している。	
	22	5	保護者と適切に連携しているか。 ・細目に電話連絡するとともに、必要であれば保護者面談を行っている。定期的に三者面談(年2回)を行っている。 ・電話連絡や三者面談を通じ、適切に連携している。	
	23	5	卒業生への支援体制はあるか。 ・状況に合わせて対応している。 ・随時対応している。	
	24	4	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか ・努めている。	

	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	5	・より充実した環境を整備したいと考えているが、満足した環境を整えるためにはコストと時間がかかる。 ・社会的ニーズを踏まえた授業カリキュラムになっている。	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	5	・授業科目として取り入れるなど、工夫をしている。 ・検定取得のための授業を展開している。インターンシップを年間を通して行っている。	
VI 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	・より充実した環境を整備したいと考えているが、満足した環境を整えるためにはコストと時間がかかる。 ・平素の教育活動を行うには対応できているが、さらなる拡充が求められる。	最寄りの地下鉄駅から、数分で登校出来るなど交通の利便性が高く、立地条件も良い、しかし、現状の学科構成の見直し等を図る場合は、設備面をはじめ、より検討や工夫が必要である。
	28	実習室の効果的な活用が図られているか。	5	・パソコン教室では、画像処理やデジタルサウンド、スマホアプリの開発など効果的に活用している。 ・十分活用できている。	
	29	防災に対する体制は整備されているか。	5	・消防計画をたて、消防設備の点検等を行っている。 ・消防設備点検を実施している。	
VII 学生募集	30	社会のニーズに応じた学生の募集が適正に行われているか。	4	・将来に向けて、広報活動は限定的なものになっている。 ・適正に行われている。	社会でしっかり働いている卒業生がいる事で、社会の中で評価は高いと思う。この良い点をしつかりPRして欲しい。また、体験入学などに保護者同伴をしてもらう事は、専門学校ではあまり聞かない事なので学校を理解して貰うには良い事だと思う。
	31	学生募集活動において、教育成果は十分に伝えられているか。	4	・体験入学には保護者も同伴してもらい、模擬授業を保護者に見てもらい、保護者・生徒面談を行っている。 ・学校説明会や体験入学では十分伝えることができているが、広く教育成果を伝えていく必要がある。	
VIII 財務	32	中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	3	・専門学校の学生数を増やして、収入を増やす必要がある。 ・改善するべきところは改善して安定を目指す。	学園全体として収支は申し分ないが、専門学校単体では、厳しい財政状態といえる。募集状況が厳しいが、支援が必要な学生にとっては必要な教育機関のひとつである。
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3	・限られた予算内で有効に使われている。 ・妥当なものになるよう努めていく。	
IX 法令等の遵守	34	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	5	・適正に行われている。	設置基準等の遵守と適正な運営を心がけている。
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	5	・適正に行われている。 ・個人情報保護に十分注意を払っている。	
X 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	5	・学校の授業以外でも外部から依頼があれば積極的に対応しているが、本年度は新型コロナの影響で外部からの受け入れを行っていない。 ・要請があれば積極的に行っている。	新型コロナの影響で外部への活動が制約される中、ボランティア活動を紹介し、奨励、支援している点は評価出来る。
	37	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	5	・高齢者施設や放課後児童サービスへのボランティア活動を紹介している。 ・奨励・支援している。	
全体平均 <u>4.54</u> (評価基準)4段階 適切-5 ほぼ適切-4 やや適切-3 不適切-2 (わからない-1)					